

日常的な安全指導における 一声(ひとこえ)事例

【安全教育の目標】

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

安全教育で
身に付ける力

危険を予測し回避する能力と、
他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成

生活
安全

交通
安全

災害
安全

安全教育の3領域

【安全教育の推進に向けて】

このシートは「安全教育プログラム（第17集）」（令和7年3月東京都教育委員会）の「必ず指導する基本的事項」に基づき、指導の際に参考となる「一声」をまとめたものです。安全教育の3領域「生活安全」、「交通安全」及び「災害安全」について掲載しています。

近年全国各地で発生している風水害や、近い将来起こりうる首都直下地震等の自然災害の状況、交通事故、犯罪等の社会的な情勢の変化など新たな課題も顕在化している状況があります。幼児・児童・生徒の安全対応能力を一層高められるよう、上記に示す3領域の安全について日頃から意識し、安全教育に取り組む必要があります。

このシートは、短い時間で確実に指導を実施する際に活用していただくことをねらいとしています。朝の会や帰りの会、避難訓練等の短時間での取組において、「一声」指導を実施し、幼児・児童・生徒の危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成を積極的かつ継続的に推進して下さるようお願いいたします。

令和7年3月

 東京都教育委員会

一声(ひとこえ)事例チェックシート

【Ⅰ 生活安全】

Check

登下校（登降園）時の安全	1-① お家の人と手をつないで、帰りましょう。	
	1-② 怖くなったら、防犯ブザーを鳴らしましょう。	
	1-③ 園に来るまでの、危ない場所が言えますか。	
	1-④ 電車やバスに乗るときには、お家の人のそばにいきましょう。	
校（園）内での安全	2-① おもちゃが散らばっていると、どんな危ないことが起こるかな。	
	2-② 園で遊ぶときのきまりを言えますか。	
	2-③ 大きな積み木を運ぶときは、二人で声を掛け合って運びましょう。	
	2-④ 廊下の曲がり角は、相手が見えないですね。走っていたらどうなるでしょう。	
	2-⑤ 『〇〇〇』という放送を聞いたたら、悪い人が入ってきた合図なので、近くの先生のところに集まりましょう。	
	2-⑥ すぐに近くの部屋に入って、先生のところに集まって、静かに待ちましょう。	
	2-⑦ 今日は、悪い人から身を守る練習をします。	
家庭生活での安全	3-① 悪い人が、みんながお家に入るところを見ているかもしれません。玄関を開けたら、すぐに鍵をかけましょう。	
	3-② 家のチャイムが鳴っても、出なくていいです。本当に用事のある人はもう一回来てくれるからね。	
	3-③ エレベーターに乗るときの約束、『は・さ・み』を言えますか。	
	3-④ 家の周りで、あまり人が来ない場所を知っていますか。	
	3-⑤ 知らない人に、声をかけられたら、その場所から離れましょう。	
地域や社会生活での安全	4-① 一人で行ってはいけない場所を、お家の人と決めていますか。	
	4-② あまり人が来ない場所を知っていますか。	
	4-③ 連れていかれそうになったら、大きな声で『助けて。』と叫びましょう。	
	4-④ このマークがある場所を、お家の人と探してみましょう。	
	4-⑤ 夕方、放送が聞こえたら、暗くなる前に家に帰りましょう。	
	4-⑥ 『いやだ、変だ』と思ったら、すぐに大人に知らせましょう。	
	4-⑧ 山や海、川では、必ずお家の人の近くで遊びましょう。	
スマートフォン等の使用時の安全	5-① お家の人と、約束を決めましょう。	
生命（いのち）の安全教育	6-① 水着で隠れているところは、自分だけの大切なところですよ。	
	6-④ 体を見られたり触られたりして、嫌な気持ちになったときは、すぐに先生やお家の人に話しましょう。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集（令和7年3月）」（P.76～P.91）に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめですよ！

【Ⅱ 交通安全】

Check

道路の歩行と横断 及び交通機関の利用	1-① 車が通る場所から離れた道の端を歩きましょう。	
	1-② 園に来るまでに、信号機はいくつありますか。	
	1-③ 信号機のない交差点を渡る時は、右を見て左を見て、もう一度右を見て、車が来ないことを確認してから渡りましょう。	
	1-④ 信号が青になっても、すぐに渡りません。必ず、『右、左、右』を見て、車が来ないかを確かめてからにしましょう。	
	1-⑤ 傘を人に向けないように、気を付けて持ちましょう。	
	1-⑥ 夜は車を運転している人から見えにくいので、明るい色の服を着て目立つようにしましょう。	
	1-⑦ 友達との間が空かないように、前を見て歩きましょう。	
	1-⑧ 電車が通る『踏切』は、音が鳴ったら、渡りません。	
	1-⑨ 歩きづらそうにしている人がいたら、どうしたらいいでしょうか。	
	1-⑩ 電車のホームでは、黄色い線の内側まで下がって待ちましょう。	
自転車の安全な利用 と点検・整備	2-① 自転車の安全な乗り方を知っていますか。	
	2-② 雨の日や夜には、みんなは自転車に乗ってはいけません。	
	2-③ 自転車でも信号を守ります。スピードも出してはいけません。	
	2-④ 自転車がこわれていないか、お家の人といっしょに確認しましょう。	
	2-⑥ 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶり、頭を守りましょう。	
二輪車・自動車の 特性と心得	3-① 駐車場や止まっている車の近くで遊んではいけません。	
	3-② 車に乗ったら、シートベルトをしましょう。車は、急に揺れたり止まったりすることがあります。	
	3-③ 交差点で待つときは、車が走る道路から下がって待ちましょう。曲がってくる車のタイヤに巻き込まれることがあります。	
交通事故防止と安全 な生活	4-① 交差点に立ってみんなの安全を見守っている人へ挨拶をしてみましょう。	
	4-② 近くにいる大人に、『助けて』と伝えましょう。	
	4-③ けがをしたら、大人に知らせましょう。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集（令和7年3月）」（P.76～P.91）に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！

【Ⅲ 災害安全】

Check

火災時の安全	1-①	放送や先生の話聞いて、『おかしも』守って外に出ましょう。 避難する場所は、どこですか。	
	1-②	火事の時、モクモクしている煙を吸うと、とても苦しくなって、息ができなくなってしまいます。とても危険です。	
	1-③	火事を見付けたら、『火事だ。』と大きな声で大人に知らせましょう。	
	1-④	火事するとき、燃えているところに絶対に近付いてはいけません。	
地震災害時の安全	2-①	この音を聞いたら、落ちてきたり、倒れてきたりする物のない場所で身を守ります。	
	2-②	『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない (おたい)』場所を見付けて、ダンゴムシのポーズをとります。	
	2-③	今から避難します。避難の時の約束を覚えていますか。『おさない、かけない、しゃべらない、もどらない (おかしも)』です。	
	2-④	このマーク (誘導灯) は、避難する目印のマークです。	
	2-⑤	家の中で、ものが、『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない (おたい)』場所はどこでしょうか。お家の人と話してみましょう。	
火山災害時の安全	3-①	火山が噴火したら、先生やお家の人のいうことを聞いて、避難しましょう。	
	3-②	火山が噴火したら、マスクをするか、ハンカチで口を覆いましょう。	
気象災害時の安全	4-①	川の水が急に増えるので、雨がやんでも川に近付かないようにしましょう。	
	4-②	雷が鳴ったら、近くの建物の中に入りましょう。	
	4-③	竜巻が起きた時は、近くの建物に逃げましょう。	
	4-④	道路が凍っています。ゆっくりと歩きましょう。	
	4-⑤	屋根に積もった雪が落ちてくる場合があります。屋根のすぐ下は歩かないようにしましょう。	
避難所の役割と貢献	6-①	みんながお家に帰れないときに、お家の代わりにしてくれるところです。ここで寝たり、ご飯を食べたりします。	
	6-②	避難所では、みんながお仕事をしています。あなたは、どんなお仕事ができるか、考えてみましょう。	
	6-③	自分にできること (ごみを拾う、お皿を配る等) を考えてやってみましょう。	
	6-④	避難所になる場所には、食べ物や布団があります。	
災害への備えと安全な生活	7-①	今日学んだことは、みんなの命を守るとも大切なことです。学んだことをお家の人に伝えましょう。	
	7-②	お家の人の名前と家の電話番号を言えますか。	
	7-③	避難袋とは何か、知っていますか。中に何が入っているのでしょうか。	
	7-④	血が出たら、触らないようにして、大人に伝えましょう。	
	7-⑤	消防士さんやおまわりさん (自衛隊の方々) は、地震などで困っている人を助けるお仕事もしています。	
	7-⑥	大きい地震があったときは、みんなで協力して困った人を助けます。	
弾道ミサイル発射時の安全	8-①	(実際に音を鳴らして) この音は危険を知らせる合図です。	
	8-②	(実際に音を鳴らして) スマートフォンやテレビから、この音が聞こえたら、先生やお家の人の話をよく聞いて、一緒に避難しましょう。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集 (令和7年3月)」(P.76~P.91) に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめですよ！